

海外の大学で学ぶという選択肢

日本の大学の留学制度について

日本の大学の留学制度

近年、グローバル人材の需要が高まるにつれ、国内の大学も海外留学の支援を充実させてきています。高校卒業後に直接海外大学へ進学する以外にも、日本の大学に進学し、在籍中に海外の大学で学ぶ経験をすることも可能です。

大学が支援する代表的な留学制度は、以下のようなものがあります。

- 交換留学
- 派遣留学

これらの留学制度については以下で詳しく解説しているので、参考にしてください。

<https://global-edu.tokyo/cms/wp-content/uploads/2022/08/ba8e2f5931ae93c17af7356011dd2eba.pdf>

大学の留学制度を利用する場合のメリット

- 留学費用が抑えられる（交換留学の場合）

交換留学は大学間の協定に基づくため、日本の大学の授業料を納めていれば授業料はかかりません。そのため、負担が必要な費用は、航空運賃、滞在費、保険などに限られます。

留学スタイルの中では、最も費用を抑えられる留学となります。

海外の大学の授業料の例（約1年間）：

UCLA（アメリカ） 約US\$47,052（約682万円） ※1US\$=¥145

シドニー大学（オーストラリア） 約AU\$42,000~AU\$48,000（約412~470万円）

※1AU\$=¥98 ※Arts and Social Sciencesを専攻した場合

このように、欧米やオセアニアの大学の授業料は比較的高額であるため、日本の大学の授業料だけで授業を受けられるというのは、大きなメリットと言えるでしょう。

派遣留学の場合は、基本的に授業料全額を支払う必要があります。ただし、大学が補助金を出すなど、一部を負担する場合も多くみられます。JASSOの奨学金を申請できる場合がありますので、ぜひ調べてみましょう。

日本学生支援機構（JASSO） 海外留学支援制度（協定派遣）

https://www.jasso.go.jp/ryugaku/scholarship_a/haken/index.html

●単位が認定される場合が多い

留学先での履修科目が卒業単位として認定されるかどうかは各大学によって異なります。

事前に確認して履修計画をしっかりと立てましょう。帰国後には大学が求める報告をすることが前提ですが、留学先で得た単位が認定される場合も多くあります。

大学の留学制度を利用する場合の注意点

●学内選考を通過する必要があります

交換留学、派遣留学に応募する際は、応募基準を満たし、かつ学内選考を通過しなければなりません。応募基準は語学力、在籍する大学での成績、留学費用の支払い能力の証明などです。

多くの場合、募集は1年ほど前に行われるため、その時点で英語力が必要となる点にも注意しておきましょう。

●自分が行きたい大学を自由に選べない

選択肢に自分の希望する大学や履修科目が入っているとは限りません。

日本の大学の留学制度を利用するためのアドバイス

●大学進学する際、留学制度について調べておく

大学によって、留学制度は様々です。100校以上の海外の大学と協定を結んでいる大学がある一方、協定校や留学プログラムが少ない大学もあります。日本の大学進学後の留学を考えている人は、グローバル教育に力を入れている大学のWebサイトなどを確認し、協定校や留学プログラムが多い大学を受験すると良いでしょう。

●留学必須の学部、学科を選ぶ

専攻によっては「卒業には原則留学、海外研修、実習が必要」な学部もあります。特色あるカリキュラムが生まれ、期間や内容も様々です。留学が目的ではなく、留学を通過点とする学生生活をイメージすることも大切です。

●学内選考を通過するために、学業成績と英語力を上げておく

日本の大学から留学を目指すのであれば、語学だけではなく、その他の勉強もしっかりしておきましょう。高校時代の基礎も大切なので、日頃の学習を大切にしましょう。

●希望の留学先がなければ、休学や認定留学の検討も

自身で留学先を見つけ、それを在籍する大学に申請することもできます。

留学先が認定されない場合は、大学を一定期間休学して留学します。授業料の一部を支払う場合が多く、その額は大学によって様々です。

大学が留学先として認めると認定留学となり、場合により単位も認められます。授業料は休学しての留学と同様です。

卒業が遅れる場合も多くありますが、希望する留学先に留学できる、その時の語学力に合った留学スタイルが選べる、帰国後に新卒として就職活動ができる、などのメリットがあるため、休学しての留学や認定留学は、大学生に一定の人気があります。

事例：都内私立大学の留学プログラム

最後に例として、東京都内にある私立大学の留学プログラムを見てみましょう。

留学が盛んなこの大学では、400校以上の海外の大学と協定しています。様々な特徴的なプログラムにより、多くの留学の機会を提供しています。

名称	期間	人数(1校あたり)	内容
交換留学	原則1年	1-5名程度	協定校の通常科目を学ぶ留学で、高い語学力が必要。学費はかからない。
交換留学 (Language Focused Programs)	原則1年	1-5名程度	協定大学付属の語学学習機関で語学を中心に学ぶ。学費はかからない。
Customized Study Programs-R	1年	1-10名程度	学部の通常科目を学ぶ派遣留学。学費がかかる。
Customized Study Programs-L	1年	5-30名程度	語学を中心に学び、レベルに応じて大学の授業も履修できる。応募時の語学力が低くても出願可能。学費がかかる。
Customized Study Programs-R (1S)	半年	1-10名程度	学部の通常科目を学ぶ派遣留学で、学費がかかる。期間は半年間。
Customized Study Programs-L (1S)	3-5ヵ月	5-20名程度	基本的に外国語のみ学習する。学費がかかる。
ダブルディグリープログラム	1-2年間	2-20名程度	日本の大学と留学先の大学の学位、2つを取得できるハイレベルプログラム。学費はかからない。
短期留学プログラム	2-8週間	3-30名程度	春・夏休みの期間などに開催する体験的なプログラム。研修代金がかかる。